

令和5年度全国学力・学習状況調査 結果分析・活用について

学校名	大磯町立国府中学校
-----	-----------

1 調査結果の分析で明らかになったこと

	習得の状況が良好であると判断できるもの	指導の改善・充実が求められるもの
国語	「知識・技能」「思考・判断・表現」において、バランスよく正解する力が身についていた。また、例年と比べて無解答率が低い傾向にあった。iPadを用いた授業や活動により授業の理解度が増し、粘り強く主体的に取り組める生徒が増えてきた。	「言葉の特徴や使い方に関する事項」に関する問題について、他と比べて顕著に苦手とする傾向がある。iPadを用いた授業や活動の増加により、文脈に即して漢字を書く場面が減ったことが要因と考えられるのでiPadの使用を精選する必要がある。
数学	記述式の問題において、考える力が十分身につけている。無回答率についても全国平均と比べて低く、問題を解こうとする意欲も高い傾向にある。	「知識・技能」について苦手とする傾向があるため、基礎的な知識や計算処理等の技能を着実に身につけられるような指導の改善が必要である。
英語	領域では「聞くこと」、観点では「知識・技能」について必要な力が身についていた。また「話すこと」について、日常的な話題に関して自分の考えとその理由を積極的に述べることで全国に比べると得意である。	英作文や記述式の問題を苦手とする傾向があるため、より正確に書いたり自分の考えをまとめて表現したりする活動に力を入れていく。
質問紙	ICT機器の使用については、授業及び授業時間外ともに全国と比較して大きく上回っている。特に「ICT機器を使うのは勉強の役に立つ」の項目ではすべての生徒が肯定的に回答した。また、「総合的な学習の時間の自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表する」についても、全国を大きく上回っている。	「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」「将来の夢や目標を持っていますか」について、否定的な回答がやや多くみられた。「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくりや生徒の自己肯定感を高めるよう努める。職場体験や外部講師の招聘など、様々な職業や生き方を知る機会や日頃の教育活動を充実させていく。

2 学校運営及び授業の充実に向けた取り組み

- ・多様な課題をもつ生徒一人ひとりに寄り添った支援をするために、教職員、家庭、地域、外部機関等と情報を共有し、連携してチーム支援を行う。
- ・ICTを活用したり、ペアやグループで対話を取り入れたりするなど、主体的・対話的で深い学びを意識した授業改善が各教科で進んでおり、「思考・判断・表現」の項目で正答率が高い結果につながっている。今後も、対話をふくめた多様な学習活動をもとに、資質・能力の育成を旨とした授業改善に学校全体で取り組んでいく。

3 家庭（地域）へのお知らせ ※取り組んでいただきたい内容や知っておいてほしい内容等

- ・ICTの効果的な活用等による学力の向上、道德教育の推進を通じたあたたかな人間関係づくり、安全でいじめのない環境づくりについて取り組んでまいります。
- ・各種たより、メール配信システム、ホームページ等を活用して保護者・地域の皆様に情報を発信いたします。
- ・学習面や生活面について、ご家庭でのご支援とご協力を引き続きよろしくお願いいたします。